

# 犬

二年

画数 4  
筆順  
オン  
ケン  
クン

一ナ大犬

いぬ



成り立ち

「いぬ」のかたちをあらわしたもので、「いぬ」ということをあらわした字です。だから、「いぬ」とよみます。しかし、中国では「ケン」といいます。「ケンケン」というなきごえをあらわしたものとおもわれます。

「犬」はひとにいちばんみっせつなどうぶつなので、この字のへんけいした「犴」は「けものへん」といつて「けもの」のいみをあらわすのにつかわれています。

使い方

▽わたしの愛犬のなまえは、ポチといいます。とても、かわいい犬です。

▽犬やねこや、うしやぶたを、かちくといえます。とくに、犬は、ペットとしてかわいがられています。

熟語例

▽愛犬（かわいがっている犬。愛している犬）

▽名犬（あたまのよい、すぐれた犬）

▽番犬（いえの番をする犬。どろぼうなどがはいらぬように、いえをまもっている犬）

▽猟犬（狩猟をするときにつかう犬。きつねやとりを狩りだして、つかまえるやくをする犬）

▽警察犬（警察で、はんにんをつかまえたり、ものをさがしたりするときに、きゆうかくをはたらかせて、かつやくする犬）

▽盲導犬（目のふじゆうな人のために、みちあんないをしたり、きけんからまもったりする犬）

▽犬猿の仲（犬と猿とのあいだがらのように、仲がわるいことのとえ。「○さんと△さんは犬猿の仲だ」といふように、つかいます。）

使い方

# 見

二年

画数 7  
筆順  
オン  
ケン  
クン

目見

み見る 見える 見せる

成り立ち



「目」という字と、「人」のかたちをあらわし、人といふいみをあらわした「見」とをくみあわせてつくった字。「人は目でものを「みる」ということで「みる」ことをあらわした字です。人における目のはたらきをあらわしたものです。

「見る」ことから、「見せる」「見える」というようにもつかえます。また、「人にある」といういみにもつかえます。

また、「見る」ことであた「ちしき」、「見てかんがえた」「かんがえ」といういみにもつかわれます。